

平成24年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	アジア大洋州地域及び北米地域との青少年交流		担当部署	アジア大洋州局・南部アジア部 北米局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	地域政策課/北米第一課	伊従誠/吉田朋之		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅶ-2 国際機関を通じた経済及び社会分野に係る国際貢献			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条、外務省組織令第39条		関係する計画、通知等	「東日本大震災からの復興の基本方針」大震災の教訓を踏まえた国づくり(P23.5(4)③(i))			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災からの復興のため、青少年交流を通じた日本再生に関する外国の理解増進及び風評被害に対して効果的な情報発信を行うことで日本産品の信頼回復・向上等を図るもの。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	招へい事業では、アジア大洋州及び北米諸国の高校生・大学生を日本に招へいし、東北地方の被災地の視察、交流プログラム、ボランティア活動等を通じ、青少年や他の人々との交流を深め、被災地の現状及び復興・再生に向けた活動の現状について正確に理解させ、復興に向けた日本の努力・活力を印象づける。また、帰国後も本邦滞時に得た経験等を発表する機会を設け、招へい対象者外への波及効果を狙う。派遣事業では、被災地の青少年を中心として高校生・大学生をアジア大洋州及び北米諸国各国に派遣し、各国の青少年や他の人々との交流を深めることを通じて、日本の現状を正確に伝え、再生へ向けた日本の努力を印象づける。以上のプロセスを通じ、日本再生に関する外国の理解を増進し、風評被害に対して効果的な情報発信を行うことで日本産品の信頼性回復・向上等を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
	予算の状況	当初予算	-	-	0	-	-
		補正予算	-	-	7,247	-	-
		繰越し等	-	-	0	-	-
		計	-	-	7,247	-	-
	執行額		-	-	7,247	-	-
執行率 (%)		-	-	100	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	①招へい:報告書ウェブページへの掲載 ②派遣:被災地についてのプレゼンテーション		成果実績	-	-	0	-
			達成度	%	-	-	0
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	アジア太平洋及び北米地域との青少年交流数		活動実績	-	-	0	-
			(当初見込み)	人	-	()	()
単位当たりコスト	約63万円/一人		算出根拠	短期/長期招へい、派遣一人当たりの積算の平均。 72.47億円/11,425人			
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	アジア大洋州地域青少年交流拠出金	0	0				
	北米地域青少年交流拠出金	0	0				
	計						

事業所管部局による点検

評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○ 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	被災後海外からの訪問者が減少していることもあり、諸外国からの青少年の受け入れ(交流)に対するニーズがあることは確認済み。 本件は、上記ニーズに答えると同時に、風評被害に対する効果的な発信を行う等政府として開かれた復興を実現していく上で、優先度が高い事業。
	○ 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	- 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○ 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業は、原則拠出先から委託を受けた実施団体(民間)が実施する(拠出先が一部事業を実施することもあり得る)が、本実施団体の選定にあたっては、十分な競争性が確保されている。 招へいを行う際のグループ人数は、費用対効果の観点から効率の良いグループ人数を算出して実施。また、類似案件の経験からより適切な日程、単価を割り出す等効率的な事業となるよう精査している。また支出可能項目は限定しており、真に必要なもののみとなっている。
	○ 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	- 受益者との負担関係は妥当であるか。	
	- 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○ 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○ 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	拠出先との関係では、調整を経て拠出済であり、事業実施団体選考を経て実施準備が進んでいる。 本事業は、予め関係省庁と相談した上で予算要求を行っている。本事業が青少年の交流による日本再生に関する外国の理解増進、風評被害対策を目的としたものである一方で、文科省事業は、日本への留学前に訪日機会を提供し、留学を後押しするという、震災後の外国人留学生の減少を防ぐことを目的とした外国人大学(院)生の訪日事業であり、目的が異なる。
	○ 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	- 活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○ 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 文科省 高等教育局	
	- 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	

点検結果		

予算監視・効率化チームの所見

-	-	
---	---	--

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)

-	-	
---	---	--

補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)

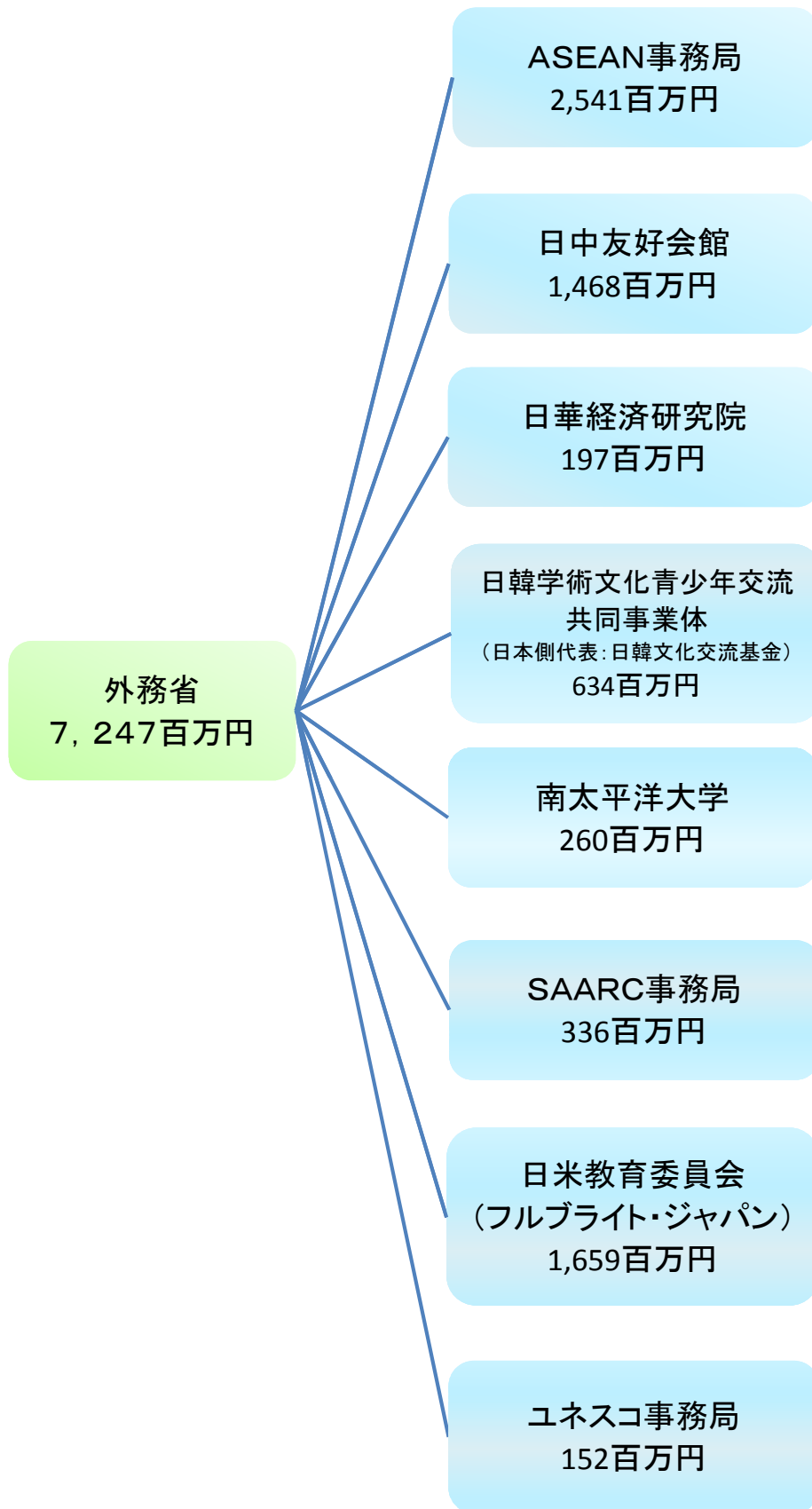
--	--	--

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー
---------------	--	---------------

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位：百万円)



個別事業名： アジア大洋州地域及び北米地域との青少年交流

A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	ASEAN事務局	2,541	拠出金	南太平洋大学	260
計		2,541	計		260
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	(財)日中友好会館	1,468	拠出金	SAARC事務局	336
計		1,468	計		336
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	(財)日華経済研究院	197	拠出金	日米教育委員会	1,659
計		197	計		1,659
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	日韓学術文化青少年交流共同事業体	634	拠出金	ユネスコ事務局	152
計		634	計		152

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

個別事業名： アジア大洋州地域及び北米地域との青少年交流

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ASEAN事務局		2,641		
2	日米教育委員会		1,659		
3	(財)日中友好会館		1,468		
4	日韓学術文化青少年交流共同事業体		634		
5	SAARC事務局		336		
6	南太平洋大学		260		
7	(財)日華経済研究院		197		
8	ユネスコ事務局		152		
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					